

つづみ通信

たぐましい子 やさしい子 考える子 支えあう子

大和郡山市立筒井小学校

校長 木村 栄一

学校だより No. 5

令和3年7月20日発行

1学期も終業式となり、いよいよ子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。子どもたちにとって、学校ではできない多くのことをこの夏休みで経験してくれればと思います。経験は子どもたちにとって大きな宝物です。この長い夏休みが楽しく充実したものになるようにと願っています。

1学期間、お子様の健やかな成長を支え、本校教育にご理解ご協力いただき、ありがとうございました。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

異学年での交流

〇1・2年生交流

2年生の子どもたちが生活科で作ったゲームを体育館に持ち込み、1年生を招待し、ゲーム大会を行いました。「しゃてき」や「わなげ」、「金魚すくい」等、楽しいゲームがいっぱい。2年生がゲームの進行を行い、優しく1年生の子どもたちに教えていました。



〇3・4年生交流

4年生の子どもたちが総合で学習した「水の大切さや節約の仕方」について、3年生に向け発表会を行いました。タブレットを使い、発表の文章も覚え、しっかり発表することができました。3年生の子どもたちも多くのことを学ぶとともに、4年生の頑張りに大きな刺激を受けたようです。



〇5・6年生交流（委員会活動）

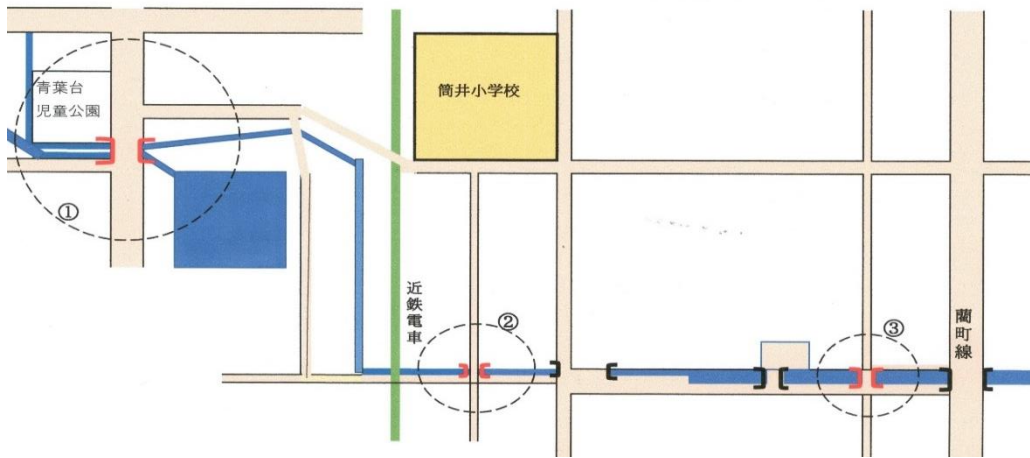
5・6年生の子どもたちが協力して、学校がよりよくなるように委員会活動を進めています。各委員会によって活動は違いますが、学校がきれいになるよう整備してくれたり、全校朝会や掲示板等を使い全校に呼びかけたり、高学年の子どもたちが頑張っています。

個人懇談会、ありがとうございました

個人懇談会に、お忙しい中ご参加いただきありがとうございました。1学期を終えて学校生活や家庭生活で見えてきた一人ひとりの頑張りや課題の共有、今後に向けての話合いをさせていただきました。何か気がかりなことやお尋ねになりたいことができた時は、遠慮なくに学校までご相談ください。

無名橋名付け親プロジェクト

以前よりお伝えしてまいりましたように、校区にある無名橋に名前をつける取組が「無名橋名付け親プロジェクト」として市内全小学校において行われてまいりました。本校においても6年生が中心となり、橋の名前の候補を挙げ、最後には全校の子どもたちの投票により校区内にある3つの橋に名前をつけました。命名するまでには、市役所や地域の方にお越しいただき、さまざまな橋の話や地域の歴史等についてお話をさせていただきました。この活動を通して、6年生の子どもたちは、筒井の歴史を学ぶとともに、地域の誇りを高めることができたと思います。また、みんなで名付けた橋に、筒井小の子どもたちには愛着が生まれることでしょう。



子どもたちが名付けた橋の名前を紹介します。

◎橋の名前と名付けた理由

- ① 時青流橋（あゆみばし）…青葉台ともに流れる時を過ぎ、私たちを見守ってくれているから
- ② 子見守橋（ささえばし）…当初、あぜ道だったが、登校の安全を思い、地域の人たちが道を提供してくださった。橋の幅も広くなった。これからも地域の方々子どもたちを見守ってくれているから
- ③ 知恵橋（ちえばし）…筒井順慶さんが、昔は便利な道具がないのに、知恵を絞ってここに堤防を作り、その後に橋がかけられたから

本校には、子どもたちの読書環境がよりよくなるようにと、ボランティア「おはなしつぷら」の皆さんがおられます。例年でしたら、読み聞かせや図書室の整備等をしていただいておりますが、昨年よりコロナ禍のため来ていただくことができていません。そのようななか、「おはなしつぷら」の皆さんが筒井の子どもたちがより本に興味を持つようにと、「つぷらおすすめ本診断」（先週配布）を作ってくださいました。本を選定する際に参考にして、長い夏休みに読書の機会を持っていただければと思います。